



国立病院機構(NHO)宇都宮病院院内広報誌

わかあゆ

WAKA - AYU



基本理念

私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します
そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

目次

20 **秋** 13

第29号

広報誌 / 年4回発行

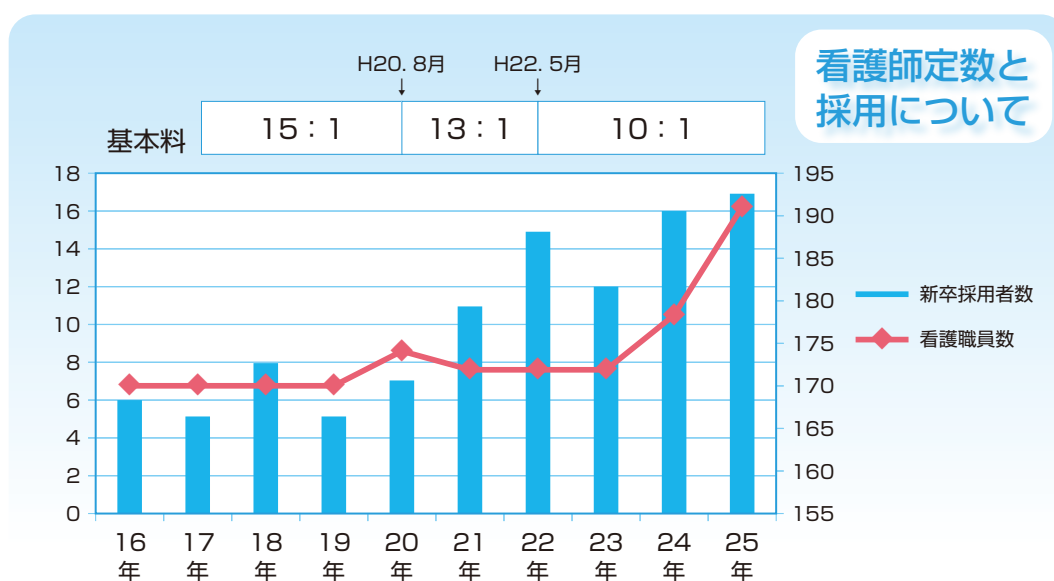
発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 25年10月1日
発行責任者：沼 尾 利 郎

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ■ 新しい病棟への期待 …… 1 | ■ 皮膚・排泄ケア認定看護師資格取得 …… 3 |
| ■ 地域医療支援病院の役割 …… 2 | ■ 病棟薬剤業務始めました …… 4 |
| ■ 平成25年度 第1回市民公開講座 …… 3 | ■ ニューフェイス・インタビュー …… 5・6 |

新しい病棟への期待

看護部長 郡司 美津江

来年度、4ヶ病棟と中央材料・手術室、リハビリ棟が新しくなります。当院が国立療養所宇都宮病院と国立療養所東栃木病院が合併して一部の病棟が新しくなったのは、平成5年7月1日でした。20年になります。現在勤務している看護師の中で20年以上勤務している方は約1割ですから9割の看護師は新しい病棟を初めて体験します。その20年間で、何が変わってきたでしょうか。病院の平均在院日数は24年度が37.6日でしたが、平成6年は76.0日でした。重症心身障害者病棟の平均在院日数の変化が特に大きく影響しています。ショートステイの患者さんを受け入れて、現在220日～240日ですが平成7年は1000日を超えている病棟もありました。その間に病院は名前が変わり、所管が国立病院機構に変化しました。結核病棟を整理し、多剤耐性結核病床を整備して運用してきました。宇都宮市の二次救急輪番に参加し、地域支援病院を取得しました。では看護部はどうでしょうか。



看護師の平均年齢や、在職年数についてはあまり大きな変化はありませんでした。平成7年の看護師(医三)定員数は176名でしたが平成22年、私の着任時は172名でした。これは、看護単位数が12看護単位から10看護単位に減少したためと考えます。しかし、25年度の定員数は191名です。この数字で十分とは思いませんが、看護師を取り巻く環境も、薬剤やリハビリに関する役割が変化しました。看護部は入院基本料を15:1から13:1、そして現在は10:1と変更しました。新卒の採用者は増えて来ましたので、今は、教育や新人看護師のサポートシステムを変えて支援をしています。認定看護師も活躍できるようになりました。この後は、更に入院基本料7:1の基準を取得して入院患者さんに基準が上がり看護の質が変わったと感じてもらえる看護を提供したいと思います。入院中の援助だけでなく、生活の質を考えた療養指導をしていきたいと考えています。退院後もその人らしい生活ができる事を支援するために取り巻く周囲の方々との連携を上手にとる必要があります。看護部は個々の看護力をつける事とチームとしての力をつけることが大切だと思います。ぜひ多くの方と新たな病棟で患者さんについて、看護について語り合いたいと思います。当院は安定した職場で長く勤務できる施設です。では福利厚生充実施設で看護部長室の強力な助っ人(?)トリオを紹介します。募集パンフレットに参加して看護師確保のために活躍してくれています。感染管理認定看護師の斉藤副看護部長のペットプリンちゃん(犬)たま子(白猫)ちゃんと王子(茶猫)君です。合成写真でないところがすごいところでしょう(!?)



地域医療支援病院の役割

統括診療部長 増田典弘

平成25年7月、当院は栃木県から「地域医療支援病院」の承認を受けました。「地域医療支援病院」とは、医療施設機能の体系化の一環として紹介患者さんに対する医療提供や医療機器の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医を支援する病院のことです。当院は県内で8番目の「地域医療支援病院」ですが、急性期疾患と慢性期疾患の両方を診療するケアミックス型病院としては県内初であり、切れ目のない医療を実践する立場として新たな支援のあり方が期待されています。

ところで、政府の社会保障制度改革国民会議は、医療・介護について改革の論点をこの度まとめました。そのポイントは、従来型の「病院で治す医療」から「地域全体で生活を支える医療・介護」へ転換する必要性を明示した点であり、特に医療機能の分化と連携を適切に推進することなど、医療提供体制の構造的な改革が求められています。当院における最近の新規事業（表）も上記の改革の方向性に沿ったものであり、ソフトとハードの両面で様々な取り組みをしています。「がん治療中核病院」は当院が宇都宮市内で2番目の指定であり、がん診療連携拠点病院や地域の医療機関と連携してがんの専門診療（低侵襲手術や化学療法、緩和ケアなど）を行うとともに、患者や家族に対する「相談支援窓口」や「がん登録」を行っています。また「病棟薬剤業務実施加算」は県内の大学病院でもまだ実施していない先進的な取り組みであり、病棟ごとに専任の薬剤師を配置して持参薬の確認や薬物相互作用の投与前確認、医薬品安全情報の把握・周知、服薬計画の提案など、医師や看護師の負担軽減や薬物療法の質的向上に大きな貢献が期待されている分野です。

私共は地域全体を支援する病院としてこれからも地域社会に貢献いたしますので、今後とも宜しく願い申し上げます。

NHO宇都宮病院の主な新規事業（予定を含む）

	事業項目	事業内容	進捗状況
1	医療機器の整備	MRI(1.5テスラ)、CT(64列)への機種変更	済
2	情報通信技術(ICT)の活用	電子カルテ、PACS(画像保存通信システム)の導入	済
3	病棟の整備	新病棟(6階建て、免震構造)の建設	進行中
4	医療連携の推進	連携医制度の導入	済
5	がん診療体制の充実	栃木県がん治療中核病院の指定(宇都宮市内では2番目)	済
6	地域医療への貢献	栃木県地域医療支援病院の承認(ケアミックス型病院としては県内初)	済
7	薬剤師の業務拡大	病棟薬剤業務実施加算の算定(県内3番目)	済
8	県事業の委託	ポストNICU受入体制整備支援事業	進行中
9	病院敷地の有効利用	介護施設の誘致・ヘリポート(ランデブーポイント)の設置	予定
10	病院周辺環境整備	病院周辺道路の整備・拡張、歩道・自転車専用レーンの新設	予定

平成25年度 第1回市民公開講座について

庶務班長 長谷川 昌俊

9月21日(土)とちぎ男女共同参画センター「パルティ」にて、今年度第1回目の市民公開講座「“がん”と告げられたら……がん治療中核病院の役割」が開催されました。当日は3連休の初日であり気温も急上昇したため、参加者がどれだけ集まるか多少の心配もありましたが、100名近い方々にご参加頂きました。



講演に先立ちアカベラグループ「Cubix」によるスペシャルコンサートがあり、カバー曲やオリジナル曲を合わせて6曲も披露していただきました。アンコールも含めて素晴らしい歌声で会場の全員が魅了された後で、前半の講演は伊藤知和外科系診療部長による「肺がんのお話」でした。進歩した検査法(苦痛の少ない気管支鏡検査)や何と言っても「禁煙」が最重要との内容でした。後半は芳賀紀裕臨床研究部長・がん診療部長による「胃がんのお話」であり、胃がんの疫学から最新の手術方法さらにがん告知の問題などの内容で、参加者は最後まで熱心に聴講されていました。

皮膚・排泄ケア認定看護師資格取得

東2病棟 副看護師長 土田 桂子

今年度、病院全体の支援があり、皮膚・排泄ケア認定看護師になることができました。認定看護師養成課程は、東北の宮城大学内にあり、約7カ月間お世話になりました。授業は実習やテストに症例発表など、生涯で一番勉強をしたのではないかと思います。

この分野に興味を持った理由は、正しい知識を持って実践すれば、看護の力で大きな傷が治せるということがとても楽しいと思ったからです。これを毎日仕事にしたり、研究できたら幸せだろうと考えていました。

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、褥瘡の予防・処置の指導、人工肛門を造設した患者さんのケアに対する指導などを行います。実務の経験はまだ不足しておりますが、これからも新しい理論や処置などを学び続け、応援して下さいました患者さんや病院に貢献できるよう頑張ります。

褥瘡対策・NST研修会「日常的なスキンケアについて」

講師としてスキンケアを実演している様子



中央が土田副看護師長



病棟薬剤業務始めました

薬剤科 赤尾 美奈

当院では、以前より入院患者さんに対する服薬指導などの薬剤管理指導業務を行っていましたが、平成 25 年 7 月より整形外科、消化器内科、呼吸器内科、外科、糖尿病・内分泌代謝科の病棟に薬剤師を配置し、病棟薬剤業務を始めました。

病棟では、入院時に患者さんが持ってきた薬を確認したり、より良い薬物治療ができるように、医師へ治療に用いる薬や患者さんが服用しやすい剤型の提案を行ったり、病棟のカンファレンスへ参加することで他の医療スタッフと情報の共有が計れるようになり、入院患者に対する有効で安全な薬物治療の実施や、薬学的な観点から充実したサポートを行っています。

入院された際には、薬剤師と会う機会が今までより増えていくと思いますので、薬の事で何かわからないことがあれば、いつでも薬剤師にご相談ください。



病棟のカンファレンスに参加



持参薬の確認

薬剤師募集！

薬剤業務拡大に伴い、
薬剤師（正社員・非常勤・パート）を募集
しています。病院薬剤師として、一緒に
医療に加わってみませんか？



■ お問い合わせ

月～金曜日 8：30～17：15

電話 028-673-2111（庶務係へ）

いつでも
ご相談に
応じます

外来診療担当医表

(平成 25 年 10 月 1 日現在)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科(初診・予約外)		吉川弥須子／ 勝部 乙大	吉川弥須子／ 池田 直哉	安西真紀子	沼尾 利郎／ 滝澤 秀典 勝部 乙大	崎尾 浩由
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	友常 孝則	佐藤 稔	森 豊
	午後	佐藤 稔	菊池 朋子		佐藤 稔	
神経内科	午前	伊藤 雅史			伊藤 雅史	
	午後					
消化器内科	午前	星野 孝文	菅谷 洋子	秋間 崇	大木 了	菅谷 洋子
	午後		菅谷 洋子			菅谷 洋子
循環器内科	午前	正和 泰斗	田所寿剛(1・3・5週) 伊藤 致(2・4週)	柴田 佳優		伊藤 致(2・4週)
	午後	正和 泰斗	田所寿剛(1・3・5週) 伊藤 致(2・4週)	柴田 佳優		伊藤 致(2・4週)
呼吸器内科	午前	池田 直哉	沼尾 利郎	滝澤 秀典	野村 由至	吉川弥須子
	午後	池田 直哉	沼尾 利郎／	滝澤 秀典	野村 由至／ 勝部 乙大	吉川弥須子／ 崎尾 浩由
腎臓内科	午後				岡田和久(2・4週) [予約制]	
小児科	午後		影山さち子 (予防接種) [予約制]		影山さち子 子供養育相談ルーム [予約制](第2・4)	
小児神経外来	午後	奥野 章(3週) [予約制]				
外科	1 診	増田 典弘	伊藤 知和	滝田 純子	増田 典弘	芳賀 紀裕
	2 診	伊藤 知和	百目木 泰	増田 典弘	山口 悟	伊藤 知和
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶藷 昌明 (初診のみ)	熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)	茶藷(第1・3・5週) 石川(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	皆川 和彦		皆川(第1・5週) 茶藷(第2・4週) 熊谷(第3週)		皆川 和彦
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶藷 昌明	茶藷 昌明	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
歯科(入院患者のみ)			渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
禁煙外来(午後・予約制)						沼尾 利郎／ 吉川弥須子
眼科(午後・予約制)						松原 忠之／ 和泉田真作
皮膚科(午後・予約制)				小田佐智子		
耳鼻咽喉科(午後・予約制)		柏木 隆志／				

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00 迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 「物忘れ外来」は、地域医療連携室にて電話予約を受け付けています。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374 (直通) FAX 028-673-1961 (直通)
担当(ソーシャルワーカー)：永山悦子・畑野多恵・齋藤恵子・市村麻貴・齋藤裕希(内線 133)



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<http://un-hosp.jp/>